



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

広島で原爆が投下される前、人々はふつうに活動していて、中心地に向かおうとしていた人、産業奨励館の中にいた人、外で座っていた人、いつも通りの日常だったけれど、しんにして炭になつた人、骨だけになつた人。ふかれば、みぶがはかみれるようにたまたまた人、そんな人たちが、いっは、いにな、てしまったことが、本当におそろしく感じた。何も気づかないまま、しんで亡くなつた人、みぶがはかみれて長時間苦痛、激痛にたえなから亡くなつていった人、生きていながらこういふに苦しんだ人、とても多くの人が、人とは言えない姿となり、苦しんだことが、本当に私が今いる国でおきたことなのかと、本当に悲しく、つらい気持ちになつた。想像よりおとろとさんこくで、二度とおこしてはならないし、おきてほしくない、強く思った。修学リョこうで資料館へ行つた時、あの日おきたことを、しっかり見て考えようと思つた。それもきれいすぎるくらい、あの日か、さんこくだつたことを、もっと知ろうと思つた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

口を気がします。震えました。この原爆のお話だけで、映像を見た訳でもないのにここまで辛くなったという事は体験した人はどれほど恐怖におそわれたのか。本当にひどいものだったと思います。皮ふがただれ、うめき声を上げて…。などは「はだしのクン」などで多少は知っていたものの、やはり表現できなほどにひどいものだったのかと思います。

生きている兵隊さんも、亡くなりそうなお方も亡くってしまった方も全ての被爆者がすごい地獄を見たのだなと怖くなります。今と遠くまで頭が追いつかないほどです。長時間苦しむことになるのも、何も分からず亡くなるのも、助かたけいども苦しい思いをしている方もどれも本当にひどすぎるものだと思います。改めて原爆について学んで、この恐怖が表し難い。ですがこうやって学んだことにより被爆者の苦しみを少しでも理解できたこと、もう二度とこのふうなことを絶対に起こすことのないふうになるという思いがとて強まりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

怖かった。テレビなどのメディアからの情報で「原爆のこと」は知っていたけど、今日 当時の実際の様子や 主な被害をくわしく聞き、さらに怖いと思う気持ちが強くなった。

原爆によるものは、熱線・衝撃波・放射線があり、放射線は人体にとっても有害で、それによる病気があり、今も苦しんでいる人たちがたくさんいて、とても残さくたと思われました。

また、「100万℃」や「7000℃」という温度を聞き、本当に信じられない温度だと思われました。そして「7000℃」は太陽の「6000℃」より1000℃も高温で、頭上600mの所にそれがあると考えると おそろしいなと思われました。

今日の話をきいて改めて 原爆はおそろしいということ、忘れてはいけないこと、二度とおこってはならないことだと思われました。

今後 次の世代にも伝えていかねなければならないことだと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/12

今日の原爆の話聞いて、今までは、原爆について8月6日におとされたくらいしか聞いたことがなかったけど、候補は、77都市からは広島、小倉、長崎などがあげられ、広島にはリトルポニーが落とされ、小倉はおとすつもりではあったけど、天候が悪かったため長崎にファットマンを落とすといわさか分かりました。また、原子爆弾の投下の際、約4kmから投下し、地上約600mでふくれて直径200m、中心部の温度は100万℃と云え、表面温度は、約7000℃と太陽と同じくらいの温度や、地上に落ちたときの温度は約3000℃と鉄がとけぬくらいの温度といわさか分かりました。またで現実とは思えぬくらいの生々しさはしつうけさを受けた。来年には修学旅行で広島に行くので今日学んたことを思い出して学ばれたです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/10

原爆先生がおとされた条件や、候補になった都市など、自分が知らなかったことまで学びました。

原爆先生の話し方で、自分がそのじょうきょうにおかまけているような気がして、すこくリアリだなかんしてました。

直径が5kmを超えること、平野であること、空しうかなかった都市、そしてなにより

その日の広島は、くもーない天気だったこと、そのような条件により

おこった原爆投下、なによりも先に出てきたかんじょうは、「こもり」でした。

もう二度とおこってはならないこと、でも明日があたりまえにくると思わず、おごしたいです。

特別授業をしてくださってありがとうございました。

とてもちやうなお話が聞けてよかったですなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

想像していたよりも、もっとこわくておどろきました。

けんぱくとうかの音がリアルすぎてびっくりしました。

広島県産業奨励館は、まえからしょうげきを受けたことか分かりました。

長岡のけんぱくまがいは知っていたけど、広島のけんぱくまがいをあまり知らなかったし、

くわしくたくさんのことを教えてもらったので、分かりやすく勉強になりました。

まがいをかかえて亡くなった人がたくさんいるという話をきいて、

生きるために亡くなったということか分かりました。

太陽の表面の温度の6000℃よりもあつい7000℃のものが高いと3にあたことか

分かりました。中央の部分は、もっとあつい100万℃ということも分かり、

すごい、考えられないくらいにあつそうだ、ということか分かりました。

今日のお話をきいて、生かしくて、きいていてもとても辛かったと3

もありました。もうおきてはいけないうことか"とあらためて考え

たり、感じることかできました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

まずは、本当にリアルに体験したというかとても怖かったです。リアル過ぎる話し方、音などに心の底からの恐怖を覚えました。また、話を聞いていて想像以上に痛々しかったです。黒く焼けこげるは想定のはい内ではありました。

しかし、汗か出てきたや肉かはみ出ているというのは想定をこえていたため想像しただけで胸か痛くなりました。また、命令や状況により助けてあげるべき人を助けられなかったというのもとても心か痛く、兵隊の人達も後悔などの気持ちかあったのではないのでしょうか。

長崎で原爆する所を間違えてくれたのは言い方は悪いかもしれないけど、まだ運か良かったのではない

のでしょうか。しかし、今日の話聞いて何もしていない人達の命を一瞬でうばってしまう爆弾は本当に怖いし、許してはいけないものだと思改めて強く思いました。これからも反対の声を上げていくという

ことと、実際に修学旅行に行った時に今日のことを思い出し、大切に忘れないようにしようと思つたし、人々から忘れられないようにしなければならぬ。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

いれいひの前でおくやみを申し上げたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の生々しさがよくわかりました。

最後のあたりの、原爆資料館の人形に対しての「二人にはそれ以上の心」というような言葉にとてもドキッとしました。その言葉に関して資料館にある資料たちだけでは感じきれないあたり、知らなかったことで今回の特別授業で知れたのかな、と思いました。ポイントにあたり人形でもとても丁寧な書きのことでそれ以上の光景的だったと思います。原爆の打撃下されたときの音、見えた物などが伝ってきました。トウロウに必死に登ろうとする人たち、それを助けようとする逆にひぶがむけてしまふ... その感じよくまで、実際に見て、体験した人だからその話が聞けました。

原爆くというのほその時の被害だけでなく、その後にも原爆症などとして被害が出てきたり、本当にたくさんの方が命を失ってしまったり、困ってほうやうなもので、少なくとも何万人もの人が悲しくなってしまうもので、この先おとあてはならないものなと思ったり、たくさんの方が知って知らせなければならないことだと思いました。

今回の特別授業で知った原爆は私の思っていたものより、すごく大きい物で、すごくいろいろなものを学びました。この感じは、伝えたことを大切にしてそれかとも原爆に向きあいたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島・長崎に原爆が落とされた時のニセオ
 ーが、た。原爆の話を知った時、思ったより生々しく、
 悲しい話で感じた。広島は、投下される予定で
 はなかったが、天気が良かったので投下された。原子爆
 弾は、約4トンもあり中心温度は100万℃という高温
 で落ちたのはかなりの熱さだと思った。それが、直撃
 したと思うと可成り辛い。おれさんには、人を助けよう
 と手を差し伸べたけれど皮肉にもスルッと落ちたという表
 現が怖いと感じてしまった。7000℃や100万℃にちかると
 表現するのはうらやましい。原爆が投下された後も
 悲しい状態で元の生活に戻るには長いと思う。
 そして、生き残った人も体にあつた放射線のせいで
 原爆症という病気にかかったこともあった。空虚状態
 になったことで建物も粉々にした。それから、原爆は
 投下しても意味のないことだと思った。平和は当たり前
 ではないと思った。平和の尊さについて改めて考
 えようと思った。修学旅行のときには、原爆ドーム
 をよく見てきた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/12

自分は原爆についてくわしいことは全然知らなかったが、原爆先生の特別授業を受けて原爆の怖さや生々しさがものすごく伝わってきました。前半の授業では、義三さんと原爆の関係を知りました。原爆が落とされた時、ほぼ無傷で生き残ったのは本当に奇跡だと思うし、原爆が落とされた後、国のために動いている義三さんはすごいなと思いました。後半の授業では原爆のしくみやなぜ広島や長崎に落とされたのかの理由について知りました。7000℃という温度がどれくらい熱いのか全然想像がつかなかったが、太陽の温度と比べると原爆の熱さ、それから7000℃の温度に人間が当たると思うと原爆の怖さがものすごく伝わってきました。また、この3000℃の温度に当たると人たちが一瞬で消えたということを知り、原爆というものは一生世界中で使ってはいけないなと思いました。この特別授業全体を通して、「7000℃の少年」というのは、広島に投下された原爆「リトルボーイ」のことを私は思いました。原爆によってたくさんの方が亡くなり、生き残った人でもこれからの生活が放射線の影響で満足いく生活ができなことを知り、原爆や戦争などは絶対にやってはいけないと思いました。